



2022年5月13日

各 位

社 名 日本アジア投資株式会社  
 代表者の役職名 代表取締役社長 下村 哲朗  
 (コード番号 8518 東証スタンダード市場)  
 問い合わせ先 執行役員 岸本 謙司  
 T E L 03(3221)8518

## 2022年3月期「従来連結基準による見込値」と実績との差異に関するお知らせ

2022年4月7日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の「従来連結基準(注)による見込値」と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 2022年3月期「従来連結基準(注)による見込値」と実績値の差異 (2021年4月1日~2022年3月31日)

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表見込値(A)	2,400	80	60	30	1.69
<b>実績値(B)</b>	<b>2,409</b>	<b>86</b>	<b>61</b>	<b>49</b>	<b>2.78</b>
増減額(B-A)	+9	+6	+1	+19	
増減率(%)	+0.3	+7.5	+1.6	+63.3	
(参考)従来連結基準 2021年3月期 実績値	3,089	214	173	144	8.18

### 2. 差異が生じた理由

特別利益の計算において為替差益の影響が見込みよりも増加したため、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表見込値から63.3%増加しました。

### 3. 業績予想及び「従来連結基準(注)による見込値」について

#### (1) 業績予想について

当社グループが展開するプライベートエクイティ投資は、その事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した従来会計基準に基づく「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。

#### (2) 「従来連結基準による見込値」について

「従来連結基準による見込値」に適用される従来会計基準は、現在の会計基準と違いがあります。当社グループでは、2007年3月期より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準

の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 2006年9月8日 実務対応報告第20号)を適用し、当社グループで運営している投資事業組合等の一部を連結の範囲に加えて連結財務諸表等を作成しております。他方、従来からの会計基準では、投資事業組合を連結の範囲から除いた上で、資産、負債及び収益、費用を外部出資者の持分を含まない当社及び関係会社の出資持分に応じて計上し、また、会社型ファンドについては連結の範囲から除いています。

当社は、投資家及び株主の皆さまに当社グループの経営成績及び財務状況を正しくご認識頂くためには従来からの会計基準による財務諸表等の開示も必要と考えており、参考情報として、従来の会計基準に従った連結財務諸表等を「従来連結基準」として継続的に開示しております。

以上